

授業科目	保育・教職実践演習(幼稚園)				単位	2		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31103J		
開講年次	2年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP5-1 DP5-3			
担当教員	末嵯 雅美、篠木 賢一、阿南 寿美子、池田 佐輪子							
授業概要	<p>教職・保育職の意義や役割、教育・保育に対する使命感や責任感、教育的愛情等について理解を深めると同時に、保育現場で役立つ実践力を培うために、講義や演習を組み合わせる授業を行う。具体的には、保育者として求められる社会性や対人関係能力について理解を深め、その能力を高めるためにロールプレイング等を行う。また、作成した指導案をもとに行う模擬保育やグループ討議、各種の事例や記録等を通して、子ども理解力やクラス経営力、保育内容の指導力を高める。さらに、幼児教育や保育における現代的課題を踏まえた上で、保育者として必要な知識・技能・資質を確認する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者としての使命感を持ち、子どもから学び、共に成長しようとする姿勢を身につける。 2. 同僚保育者や保護者、地域の専門機関との関係を築きながら、保育実践に取り組むことができる態度を養う。 3. 子ども理解のための観察や記録に基づき、子どもの発達や心身の状況に応じた保育をする力を身につける。 4. 保育に関する現代的課題について、現状分析・考察・検討ができる。 5. 保育現場での問題解決のための対応・判断力を身につける。 6. 保育者として必要な知識・技能が修得できたかどうか自己確認し、自己課題を明確にできる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	40	10	30	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)					20		20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			10				10	
関心・意欲 (DP3-2)			20				20	
態度 (DP4-1)			10			10	20	
態度 (DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)					10		10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)				10			10	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの発達や心身の状況に応じた保育のために必要な子ども観、保育観を持ち、保育の計画を考えることができる。また、自らの考えを持つと同時に他者の意見を受け入れ、より良い保育についての意識や態度・姿勢を持つことができる。				保育職の意義や役割を理解し、他者と協働する態度や姿勢を持つことができる。子ども理解のための視点を持つことができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	テーマ:オリエンテーション/指導案作成と模擬保育① 授業概要を理解する。また、部分保育を振り返り、模擬保育の方法について理解する。 (末嵯・阿南・池田・篠木)	授業の概要および履修カルテの取り扱いについて説明する。また、模擬保育についての説明の後、指導案作成を行う。	2年前期までの「履修カルテ」の内容を確認しておく。また、模擬保育で行う題材を考え、指導案を作成する。	60
2	テーマ:指導案作成と模擬保育② 指導案指導と作成やクラス便りなどの在り方を理解する。 (末嵯・阿南・池田・篠木)	クラス別指導について、事例をもとに説明する。	模擬保育の準備	60
3	テーマ:実践事例の検討① (末嵯・阿南)	事例検討とグループ討議	授業内容の振り返り	30
4	テーマ:実践事例の検討② (末嵯・阿南)	事例検討とグループ討議	授業内容の振り返り	30
5	テーマ:保育内容の指導力① 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グループ討議を行う。	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30
6	テーマ:保育内容の指導力② 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グループ討議を行う。	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30
7	テーマ:保育内容の指導力③ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グループ討議を行う。	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30
8	テーマ:保育内容の指導力④ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グループ討議を行う。	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30
9	テーマ:保育内容の指導力⑤ 対象に応じた保育の展開の方法について模擬保育を通して理解する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グループ討議を行う。	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30
10	テーマ:保育職の意義と役割①(外部講師) 新任の先輩保育者の体験報告を通して、新任保育者としての職業意識を持つ。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	卒業生とのディスカッションを行う。	授業中の内容について受講生同士シェアリングする。	15
11	テーマ:保育職の意義と役割② 新任保育者の職業意識について、講義で学んだことをもとに、各自のワーク・ライフ・プランを作成する。 (末嵯・阿南・篠木・池田)	演習を行う。	授業中の体験について受講生同士でシェアリングする。	15
12	テーマ:保育内容の指導力⑥ 模擬保育の経験を振り返り、自己課題を考え、保育者としての自分のライフプランを描く (末嵯・阿南・篠木・池田)	グループに分かれて作成した指導案をもとに模擬保育を実施し、その後グ	模擬保育の準備と振り返りを行う中で、模擬授業の体験を受講生同士でシェアリングする。	30

		ループ討議を行う。		
13	テーマ:子ども理解と保育の手立て 子どもの育ちから園で行われる行事と地域との連携 について理解する。 (末寄)	事例をもとに演習 (グループワーク) を行う。	授業中の体験について受講 生同士でシェアリングする。	15
14	テーマ:保育者としての資質 事例を参考に個人記録および個人記録の書き方につ いて理解する。 (池田)	資料をもとに講義 を行う。	講義内容を復習する	15
15	テーマ:保育職の意義と役割③ 新任保育者の講座や2年間の学びを通して、各自の 職業観を明確にする。各種の研修制度や免許更新制 について理解し、今後の自己課題を明確にする。 (阿南)	履修カルテを用い て2年間の学修の 振り返りを行うとと もに、教員免許更 新制度について説 明を行う。	講義の復習をする。	30
16				
17				
18				
19		。		
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備 知識や技能	履修した科目や実習での体験を振り返っておくこと。			
テキスト	なし 適宜資料を配布する。			
参考図書・教材/ データベース・雑誌 等の紹介	なし 適宜、資料の配布、紹介をする。			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	保育科内の教員や卒業生をも含む地域の現職保育者・現場経験者が連携し、保育職・教職としての実践力を高めるための授業を行います。受講者は授業内容に応じて、グループに分かれて指導を受けますので、授業内容の順序が一部入れ替わります。また、各自またはグループ毎に授業のために準備をする必要があります。
達成度評価に関するコメント	レポート作成、課題提出については、各授業の中でお知らせします。 評価項目「その他」については、授業への積極的な参加態度、発言回数を評価します。